

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	イストワール鴻巣小松教室		
○保護者評価実施期間	令和7年 11月20日	～	令和7年 11月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者)	児童発達支援・放課後等デイサービス利用の全保護者	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	令和6年 11月25日	～	令和7年 12月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者)	全職員	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 12月10日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・1人ひとりの親御様との相談や話を聞いてくれること、情報共有を含め子ども1人ひとりの理解をした支援を行っている。	・親御様との親密な話し合い、きめ細やかな対応が出来る様に取り組んでいる。	・相談事を全体で共有しながら質の高い支援を検討し、連携をしながら支援を充実させていく。
2	・職員間での情報共有を徹底して行い、朝礼との機会を使って研修等も行っている。	・利用者についての情報共有を行いながら全職員が実態を把握しながら支援を行えるように努めている。	・今後もさらに細かく利用者の様子を見ながら細かな対応とともに丁寧に引き継ぎを行っていく。
3	・個々の特性に配慮し、安心してお預けする事が出来る場所である。	・教室内の環境整備、楽しみながら成長につながる活動が出来るように取り組んでいる。	・安心出来る環境と利用者への関わりを丁寧にしながら、楽しい活動を行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・以前まで行っていた保護者会の機会が少なくなっており、改善が必要である。	・コロナや感染症もあり、保護者会の機会が確保できていないため、開催できる体制を整えていく。	・時期や機会を見て感染症等の状況を見ながら保護者会開催の検討を行う。
2	・放課後クラブや児童館との交流等が少ない。	・公園へのお出かけや特別支援学校の文化祭見学などを通して地域との交流を図っています。	・季節、天候を見ながら、外出の機会を作っていく。 ・近所と保育所等との連携を図る。
3	・家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が少ない。	・感染症等により、家族を招くイベントが減っている。	・状況を見て、感染症等への規制を緩和し、開かれた施設としての運営をしていく。